

初年度の事業報告書

(平成23年3月1日～平成24年3月31日)

特定非営利活動法人 北海道勤労者安全衛生センター

(1) 特定非営利活動に係る事業

1. 調査・研究事業

(1) 安全衛生活動に関する実態調査と安全衛生委員会の活性化調査

「連合労働安全衛生取り組み指針」に沿って、安全衛生委員会の未設置解消や委員会の活性化を進めるために、安全衛生担当者会議で「安全衛生委員会の活性化」を取り上げ、職場の安全衛生活動をサポートしました。連合の「第7回連合安全衛生に関する調査(2011年)」に協力しました。

(2) 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)に沿った「POSITIVE」のトレーナーセミナーの開催

労働安全衛生リスクアセスメント・マネジメントシステム(OSHMS)は、職場の安全の向上とメンタルを含む衛生環境の向上に有効であるにもかかわらず、約半数の企業が実施しているに過ぎません。特に99人以下の事業所ではまだまだ普及も理解も低い状況です。今年度も(財)労働科学研究所と連携し、OSHMSを各職場段階で実践的な取り組みが出来るようにするための調査・実践研究として、「POSITIVE(労働組合主導の参加型安全衛生向上プログラム)」の職場トレーナー育成に取り組み6名を認証しました。

＜第3回 POSITIVEトレーナー養成セミナー＞

日 時 2011年11月11日(金)13:00～12日(土)15:00頃

場 所 旭川トーヨーホテル

旭川市7条7丁目昭和通 TEL 0166-22-7575

内 容 ①オリエンテーション・職場視察(サクラ クラフト)とチェックリスト演習
②視察をもとにした4分野のグループ討議・職場改善の提案企画書の作成
③まとめ

講 師 労働科学研究所 吉川 徹 副所長、 小木 和孝 顧問研究員

参加数 12名 (うち6名をトレーナーとして認証)

(3) ストレス調査の事業化の準備

精神疾患100万人受診時代を迎え、職場のストレス状況を把握することは緊急課題となっています。有効な「メンタルヘルス対策」を確立する上でも、ストレスレベルの実態把握の調査活動を活発化させ、社員個人のストレス・プロフィールや職場全体のストレス傾向を明らかにし、1次予防に努める必要があります。将来の事業化を展望しつつ、「公務職場におけるパワーハラスメント調査」として実施しました。

実施期間 2011年9～12月

対 象 北教組・国公連合北海道(全開発)の労働組合員 各1,200

集約結果 国公連合北海道(全開発)は439枚、北教組は857枚を集約。

また、自治労道本部よりパワハラ10万人アンケートの北海道分データの提供を受けた。

報告書 添付のとおり

(4) 労災保険制度の実態調査と審査請求のサポート

労災保険制度は、職場や通勤途上で災害にあった労働者の治療と生活、将来を保障する重要な制度ですが、業務上外の判断をする際の事実把握をめぐって、労働者保護の機能を十分果たしているとは言えません。精神障害の認定基準が2011年12月26日に改訂されてことを受けて、職場・地域で学習会に取り組んでいます。

状況は「セミナー一覧(添付)」を参照

2. 研修・セミナー事業

「団塊世代」の大量退職の一方で若年者の職場定着率の悪化や雇用の非正規化が進展し、職場の技術的な伝承が危機に瀕するとともに、「安全に関する技術と経験」が急速に失われ、その結果、基本的なルールを守らないための労災事故が頻発しています。

今年度は会員産別団体6、地域6、その他1の13セミナーに参加・共催し、メンタルヘルス問題や労災制度、ハラスメントの対処などについて啓発しました。

(1) 第70回中災防全国産業安全衛生大会や連合全国セイフティネットワーク集会への参加

「安全専一」を掲げて労働安全運動が始められてから100年の節目に、「第70回中災防全国産業安全衛生大会」が10月12日に東京で開催されました。

また、連合全国セイフティネットワーク(SN)集会が1年半ぶりに開催されました。

＜全国産業安全衛生大会＞

日 時 2011年10月12日(水)～14日(金)

場 所 東京国際フォーラム

＜連合全国セイフティネットワーク集会＞

日 時 2011年6月27日(月) 13:00～17:00

場 所 ホテルグランドパレス

テーマ1 今後の労働安全衛生対策の向かうべき方向

テーマ2 大震災における労働安全衛生のあり方

参加者 全国 約300名

(2) 全道研修会の開催

○第17回北海道ブロック「セイフティネットワーク集会」および全国労働安全衛生センター連絡会議第22回総会

全国労働安全衛生センター連絡会議第22回総会を第17回北海道ブロック・セイフティネットワーク集会和位置づけ、アスベスト問題とメンタルヘルス・ハラスメントのセミナーを開催し、また、翌日には同連絡会議の総会も開催しました。

日 時 2011年11月26日(土) 14:00～17:00

場 所 ホテルロイトン札幌 ハイネスホール

札幌市中央区北1条西11丁目 TEL 011-271-2711

主 催 NPO北海道勤労者安全衛生センター・連合北海道

共 催 全国労働安全衛生センター連絡会議

内 容 (同時並行開催)

講座Ⅰ 働く者の健康セミナー① アスベスト被害の現状とこれからの取り組み

講座Ⅱ 働く者の健康セミナー② メンタルヘルスとハラスメント

その他の行事

○全国労働安全衛生センター交流会

11月26日 18:00～19:30 ホテルロイトン札幌

○全国安全衛生センター連絡会議 第22回総会

11月27日 9:00～12:00 ホテルロイトン札幌

参加者 全国 86名 内 道内 29名

○アスベスト問題を考える市民集会

アスベスト問題は、2005年の「クボタ・ショック」では、労働者の被ばくから住民環境への被ばくと大きく問題が拡大し、社会の注目を集めました。それ以降、若干下火となっています。しかし、2006年に全面禁止となるまで、欧米の有害認識と使用禁止措置を横目で見ながら、当時の政府がアスベスト使用を放任してきたことは、まさに不作為の典型であるといえます。その結果、潜伏期が20～50年といわれるアスベスト禍が、いま中皮腫や石綿肺ガンなどの労災認定増大となって現れてきています。そして、今後数十年にわたり、アスベストの犠牲者は当該労働者や工場周辺住民など、年間5千人以上に被害が広がるという問題提起もあります。

これらのアスベスト問題を啓蒙するため、市民集会を後援しました。

日 時 2011年7月27日(水) 18:00～20:00

場 所 札幌市教育文化会館 4階講堂 札幌市中央区北1条西13丁目

主 催 北海道建設アスベスト訴訟原告団・弁護団

後 援 NPO北海道勤労者安全衛生センター、北海道医療生協、他

内 容 ① DVD「建設現場におけるアスベストの飛散状況」

② 原告インタビュー

③ 講演「アスベスト問題の経過と現状」全国石綿問題連絡会古谷事務局長

(3) 安全・健康セミナーの開催

各地域における安全・衛生セミナーの開催について、連合北海道の地協等と協力して取り組みました。また、会員産別(単組)や会員労働福祉団体をはじめ、企業等のセミナー開催に助言とサポート、会員職場でのセミナー等への講師派遣に取り組みました。

① 会員・地域のセミナー参加と講師派遣

状況は「セミナー一覧(添付)」を参照

②医師・医療関係者との懇談会

日 時 2011年8月26日(金)11:30~12:00

場 所 連合北海道会議室

講 師 北海道医療生協 札幌緑愛病院 理学療法士 赤松 弘崇

課 題 腰痛予防対策

(4) ストレス・メンタルヘルス対策指導者の育成

精神疾患に関する知識の習得をはじめ、職場復帰プログラムの作成指導、産業医による面接指導や労働時間管理の徹底、法的な整理など、職場での取り組みに重点を置いた対策の充実をはかるために、日本産業カウンセラー協会北海道支部と連携して、職場における「メンタル対処指導者」の育成セミナーを開催しました。

また、これら指導者育成に活用するため、メンタルヘルス問題の発見から治療・職場復帰・労災認定・精神疾患と法律など、トータルに理解するための資料「職場におけるメンタルヘルスの改善のために」を改訂しました。

＜ストレス・メンタルヘルス対策指導者の育成セミナー＞

日 時 2011年11月19日(土)13:00-15:15

場 所 中標津町経済センター(まかなっぷ)《中標津町東2条南2-1》

主催団体 NPO北海道勤労者安全衛生センター・北海道労福協・連合釧根地協

参加者 49名

次 第 ①開会・司会 門間俊二(連合北海道釧根地域協議会・事務局長)

②主催団体挨拶 佐藤久夫(連合北海道釧根地域協議会・会長)

③メンタルヘルス:スキルアップ講座

(1)「メンタルヘルスの基礎知識」「職場のコミュニケーション」

◇日本産業カウンセラー協会／山村弘美氏・井澤敦子氏

(2)北海道勤労者安全衛生センターからの提起 松浦俊一事務局長

3. 相談・広報事業

(1)機関誌「安全衛生Journal」の発行等

安全センターの活動や調査・研究の結果などを掲載するとともに、法制度の改正や安全衛生に関するポイント解説の情報提供をしました。また、ホームページの充実と定期的な情報の更新に努めました。

「安全衛生センター情報(E-mail)」は毎週1回程度発行し、90号となりました。

○ジャーナル71号(2011. 5)

●メンタルヘルス問題への理解を広げる特集

第16回北海道ブロック全道セイフティーネットワーク集会

●「気軽に、やり方を教え、やらせて直し、繰り返す」

2010年度安全衛生担当者会議(新任研修)

- 「不安全の点検活動」から「よいものを見つける」へ

第2回POSITIVE(労働組合が主導する労働安全衛生プログラム)トレーナー・セミナー

- 「精神障害の労災認定基準見直し」始まる 厚生労働省が専門検討会を設置

○ジャーナル72号〈2011. 6〉

- 社団法人を解散し、NPO法人で新たな出発

社団法人第15回通常総会とNPO法人第1回総会を開催しました

記念講演は「アスベスト問題の経過と現状」

(全国労働安全衛生センター連絡会議 古谷杉郎事務局長)

- メンタルヘルスと労災補償学習会

- [メンタルヘルス ひとくち講座]ココロとカラダはつながっている

○ジャーナル73号〈2011. 7〉

- 労働安全衛生の方向と大震災対策に提言

2011連合全国セイフティーネットワーク集会

- 労災が大幅に増加 補償状況は一部のみ公表

厚生労働省 平成22年(1～12月)労働災害発生状況

- 大幅な修正はしない模様

「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」

- [メンタルヘルス ひとくち講座]パワハラ10万人アンケート

- 日本産業カウンセラー協会北海道支部 メンタルセミナー開催日程

- [お知らせ]静かなる時限爆弾「アスベスト被害を考える市民集会」

○ジャーナル74・75合併号〈2011. 9〉

- ただひたすら家族のために働いてたのに、どうして死ななければならないのか

「静かなる時限爆弾」アスベスト被害を考える市民集会

- アスベスト被害の救済が10年延長されました

- 発注者の7割が”安全衛生の取り組みを求めることがある”

中災防「労働安全衛生への取組が取引に及ぼす影響についての調査研究」から

- 腰痛予防には姿勢・動作に気をつけ、予防体操に取り組もう

医師・医療関係者との懇談【腰痛予防対策】

- [お知らせ]POSITIVEプログラムのトレーナーセミナー(第3回)

- [メンタルヘルス ひとくち講座]仮眠の賢い利用

○ジャーナル76号〈2011. 10〉

- 「地域と職域で取り組む自殺予防」～気付いてください心のサイン～

自殺防止ゲートキーパー養成第3回公開講座(2011. 9. 3)メモ

- 308万人の人間ドックで「健康」は8. 4%! 日本人間ドック学会が全国調査

- 職場で困らない「発達障害」との付き合い方

石狩地協・札幌地区連合「メンタル4回連続講座」

- [お知らせ]POSITIVEプログラムのトレーナーセミナー(第3回)

○ジャーナル77号〈2012. 1〉

- 新年のごあいさつ

NPO法人 北海道勤労者安全衛生センター理事長 熊澤 裕幸

- 全国労働安全衛生センター総会が札幌で開催されました
- 第3回POSITIVEトレーナー・セミナー
MS(マネジメント・システム)を職場巡思で実践体験！
- 平成23年(12月末確定)の死亡労災が大幅減
- 精神労災が14年ぶりに認定基準改定！長時間労働に焦点
- [メンタルヘルス ひとくち講座]増える大人の発達障害相談

○ジャーナル78号〈2012. 2〉

- 長時間労働も心理的負荷の出来事に
心理的負荷による精神障害の認定基準 改訂される

○ジャーナル79号〈2012. 3〉

- 「公務職場のパワーハラスメント」アンケートまとまる
パワハラ受けた35. 6%

(2)メンタル無料電話相談の充実

日本産業カウンセラー協会北海道支部・北海道労福協と協力し、勤労者の相談しやすい「ストレス・メンタルヘルス無料電話相談」活動を充実・継続しました。

利用状況報告は別紙添付

(3)資料、図書の収集と活用

安全衛生活動全般に関わる最新の資料や図書、ビデオなどの収集と更新を行いました。また、VHSビデオをDVDに変換し、会員等への情報サービス機能と活用を高めました。所蔵する資料・図書類をリスト化し紹介した結果、8件の照会と貸し出し要請があり、対応しました。

購入したDVD	リフレッシュ 安全衛生委員会
	魔の瞬間 II
	新・5分間ショートチェック SC-5
	メンタルヘルス新世紀
定期購読の情報誌	労働基準広報（労働調査会）
	労働の科学（（財）労働科学研究所）
	安全と健康（中災防）
	安全スタッフ（労働新聞社）
	労働安全衛生広報（労働調査会）
	安全衛生のひろば（中災防）
	労働新聞（労働新聞社）

(2)その他の事業

該当なし

以 上